

令和4年3月11日

若桜町議会議長 山根 政彦 様

若桜町議会議員 ( 8 番)

中尾 理明



一般質問の通告について

次の事項について、会議規則第61条第2項の規定により質問の通告をいたします。

記

質 問 事 項	質 問 要 旨 (具体的に)	質問の相手
1 若桜鉄道について	(1) JRの3月ダイヤ改正では、山陰本線の減便が計画されている。また、近い将来JRは、因美線の廃止なども検討していると耳にする機会があった。仮に因美線廃止となれば、町民の最も大切な公共交通手段であり、ここ十数年観光鉄道として育ててきた若桜鉄道への影響は計り知れない。この状況について、どのように考えられているか所見を伺います。	町 長
	(2) 昨年10月24日付け朝日新聞鳥取版は、「住民の足先行き懸念」との見出しで「若桜鉄道は、「昨年度は6年ぶりの当期赤字に転落した自治体が担う『下部』の維持も楽ではない。上下分離方式の導入時に認められていた『鉄道事業再構築実施計画』(09～18年度)の沿い、安全設備の改修費などに出ていた国の支援は、計画終了後、大幅減額されるように…」と掲載している。町の若桜鉄道対策事業費の直近3年間の当初予算を見ると、各年度共1億円余りの総額に対して、国庫支出金は、令和2年度12.305千円から令和3年度3.544千円、そして令和4年度524千円と激減している(各年度の予算説明資料引用)。国は、平成19年に、「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」を定め、地域公共交通に対する基本方針と国・自治体などの努力義務を法制化しているにもかかわらず、直近の	町 長

質 問 事 項	質 問 要 旨 （具体的に）	質 問 の 相 手
1 若桜鉄道について	両年度、国の補助率が引き下げられていることは見過ごすことはできない。このことについて所見を伺います。	町 長
2 米軍機、自衛隊機の低空飛行訓練について	（1）米軍機は、平成6年から現在まで28年間、自衛隊機もここ10年近く低空で町中心部上空はもちろん、それ以外の谷あいの地域上空にも縦横無尽に飛行を続けている。低空飛行訓練について、所見を伺います。	町 長
	（2）鳥取県は、一昨年12月16日付で県民に対し、目撃等の情報を当該自治体に通報することについて各市町に通知していると聞く。町民に対して、広報等で周知を図るべきではないかと考えるが、所見を伺います。	町 長
3 子どもに係る国民健康保険税の均等割減額措置について	令和4年4月1日から、地方税法施行令の一部改正により、若桜町の国民健康保険条例の一部を改正する条例が本3月定例会に上程されている。現行の条例では、世帯の全ての子どもに対して、保険税の均等割が賦課されているが、本定例会での条例改正後は、未就学児の子どもへの均等割が5割軽減される。そのうち低所得者への均等割軽減措置(7・5・2割軽減)の対象者は、軽減後の均等割額の5割軽減もあるが、子どもの少ない若桜町の子育て支援策として、町が未就学児に対して5割負担分相当を上乗せし、均等割を無くしてはどうかと考えるが、所見を伺います。	町 長